

広島大学

令和 8 年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜 I 型

解答例・出題の意図等

教育学部 第三類(言語文化教育系)
多文化・グローバル教育学プログラム

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

令和8年度 広島大学光り輝き入試
総合型選抜（Ⅰ型）
教育学部
第三類（言語文化教育系） 多文化・グローバル教育学プログラム
小論文問題 出題の意図等

【問1】

日本の社会と学校教育における多文化共生の現状と課題を、ことばにかかわる「排除－包摂」と「同化－異化」の二軸から分析的に理解し、社会の具体的な事象を多面的多角的に思考し、自らの考えを論理的かつ批判的に表現する力を評価する。

【問2】

出題のテキストに示された3つの「乖離^{かい}」（過去の戦争と今の現実の乖離^{かい}、遠くの戦争と今の現実の乖離^{かい}、平和の理想と今の現実の乖離^{かい}）とそれぞれをつなぐ「回路」の視点から、日本の平和教育の課題を的確に理解し、平和をつくる主体を形成する教育の在り方を自分事として考え、批判的かつ建設的に提案する力を評価する。

【問3】

国際教育協力の必要性和意義を、国益主義、相互依存主義、人道主義などの立場から多面的多角的に理解し、現在の社会においても論争的になりがちな課題を論理的かつ批判的に考え、そこに内在する自らの価値観（とそのジレンマ）に自覚的に意見を表現する力を評価する。